

ICT ニュース 2023/1 月号

2023/1/10 発行 ICT/感染管理委員会

インフルエンザが全国的な流行期に入るのは、3年前に新型コロナが感染拡大して以降、今シーズンが初めてとなりました。コロナ禍以降インフルエンザの流行がなく、免疫力が落ちているため徐々に感染者数が増えているうえ、このところ空気が乾燥した状況が続き、寒さも厳しい影響で、さらに感染しやすい状態になっています。特に3歳ぐらいまでの子どもは、インフルエンザの流行を経験しないまま今シーズンを迎えているため、重症化するリスクが高まるようです。以下にその違いを提示してみました。



	インフルエンザ	新型コロナウイルス
症状	通常 38℃以上の高熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛、関節痛、咳、鼻水	発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感、下痢症状、味覚・嗅覚症状
無症状感染	10%（無症状患者では、ウイルス量は少ない）	数%～60%（無症状患者でも、ウイルス量は多く、感染力が高い）
潜伏期間	1～4日	2～14日（平均 5.6日）
ウイルス排出のピーク	症状が出る1日前からピークは3日間	ピークは発症日、感染力があるウイルス排出期間は10日以内
重症度	多くは軽症～中等症	重症になりうる
感染経路	飛沫・接触感染	飛沫・エアロゾル・接触感染
検査	抗原定性（市販なし）	PCR・抗原定量・抗原定性（市販されているが、医療用または一般用を使用する）

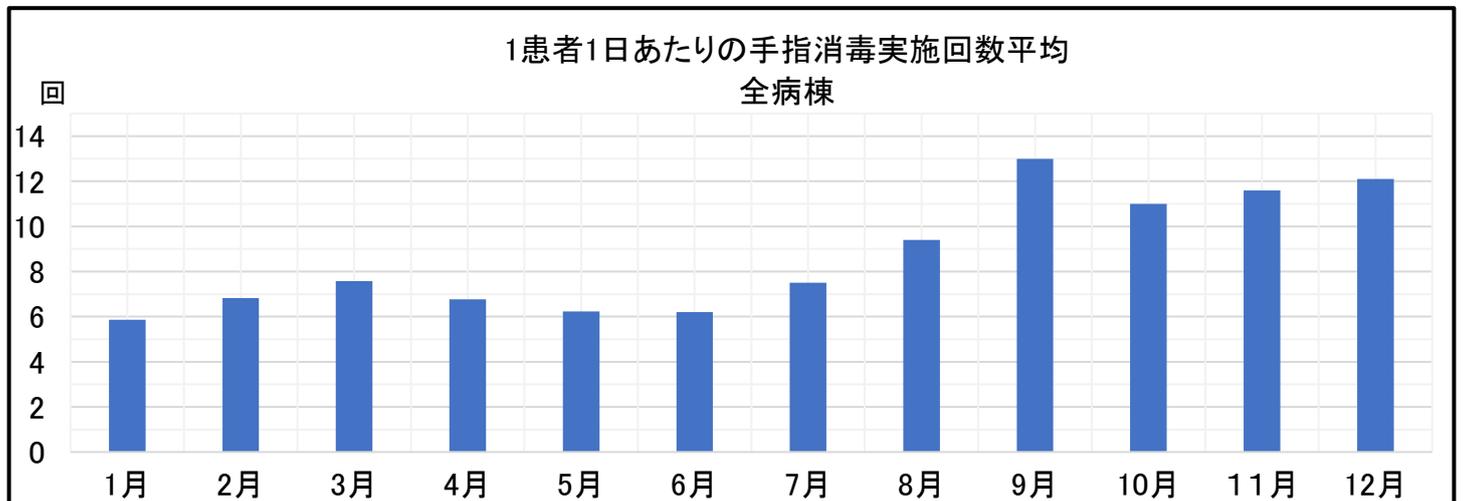
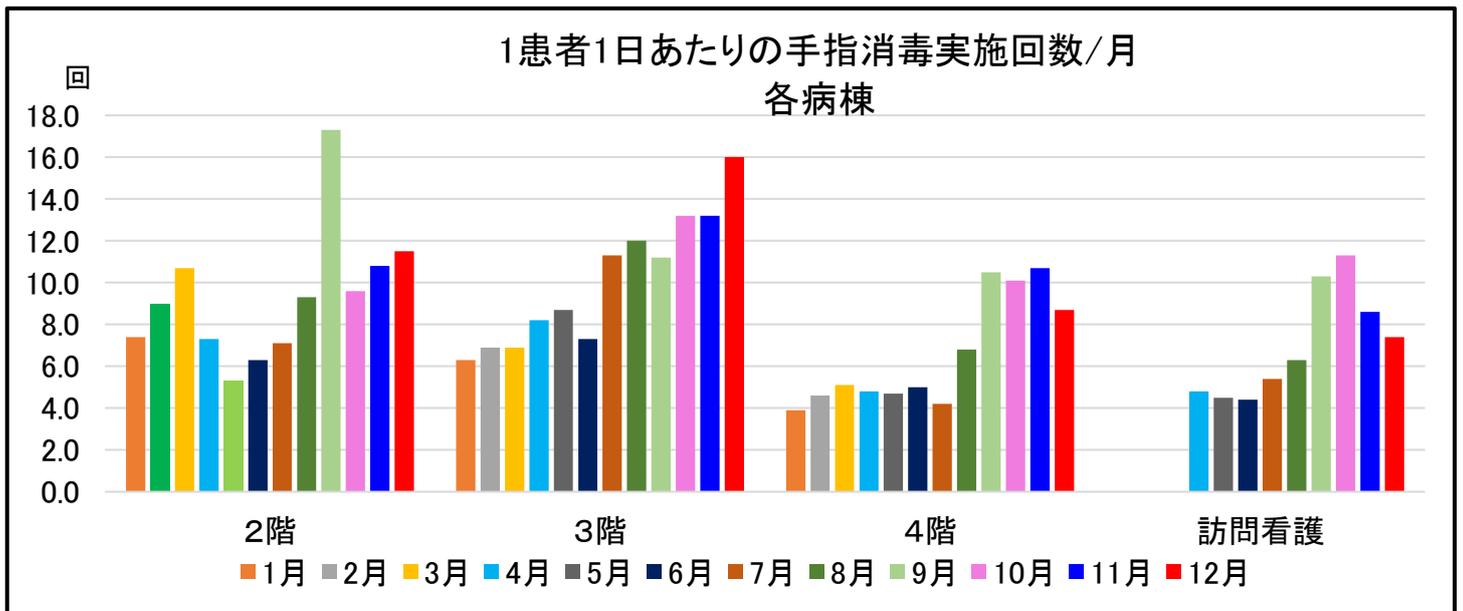
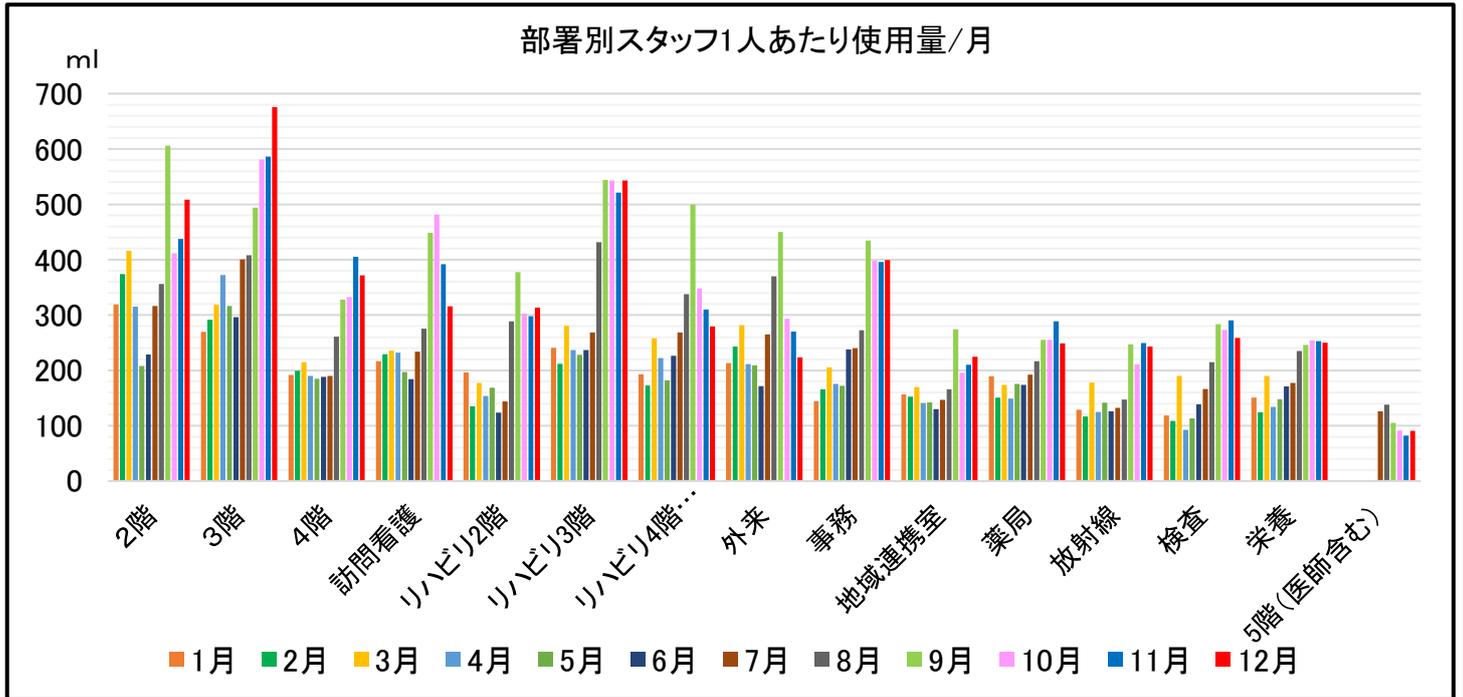
●注意：現在も主流となっているのはオミクロン株の「BA.5」ですが、「BA.5」のスパイクたんぱく質の部分に変異が加わった「BQ.1」と、そこにさらに変異が加わった「BQ.1.1」の検出が増えてきています。これらは合わせてオミクロン株の「BQ.1」系統と呼ばれ、免疫を逃れる性質が強く感染拡大が懸念されています。推計では忘年会や新年会などの開催状況など社会活動の大きさ次第で、12月下旬から1月上旬にかけて感染者数が大きく増えるかある程度抑えられるか、大きく異なることになるとしています。

AIを使った新規陽性者の推定値 NHK

12月5日までの情報に基づく



2022年 アルコール手指消毒剤使用量報告



★使用量が減少した部署は確認してください。さらに感染者が増えていますので引き続き対策をお願いします